

# 社会資本総合整備計画

最終提出日：平成28年3月25日

<b>計画の名称</b>				
尾道松江線沿線地域における観光ブランド力向上にむけた広域観光活性化計画				
<b>計画の期間</b>				
平成25年度～平成29年度（5年間）				
<b>交付対象</b>				
広島県（島根県と連携）				
<b>計画の目標</b>				
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 風光明媚な鞆の浦や三瓶山、石見銀山や尾道市周辺の神社仏閣といった歴史的資産など、多くの観光施設を有する広島県と島根県が連携し、平成26年度全線開通予定の尾道松江線と観光施設間、あるいは観光施設同士を相互に連絡する道路の整備や観光地周辺の道路環境の整備を進め、広域的な周遊観光ルートを形成する。</li><li>○ これにより、広島県備後、備北地域及び島根県東部、県央地域において、広く地域外からの来訪者の増加を図り、地域の活性化に寄与するとともに、両県が連携し、観光案内サインの充実などの観光客への利便性の向上や、沿道植栽などによる観光客への『おもてなし』の充実、また観光パンフなどによる広域的観光PRを実施することで、尾道松江線沿線地域における観光ブランド向上を図る。</li></ul>				
<b>計画の成果目標（定量的指標）</b>				
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 【広島県・島根県 共通目標】 観光客47,949千人（H22）から50,875千人（H29）に増加（2,926千人の増加）</li><li>○ 【広島県 目標】 東日本大震災等で落ち込んだ広島県内の外国人観光客数487千人（H23）を、震災以前の観光客数625千人（H29）までに増加させる。（138千人の増加）</li><li>○ 【広島県 目標】 整備計画策定以前の備後圏域連携中枢都市圏（広島県内）の観光客数18,865千人（H24）を、計画期間終了時に観光客数20,101千人（H29）までに増加させる。（1,236千人の増加）</li></ul>				
<b>定量的指標の定義及び算定式</b>		<b>アウトカム指標の現況値及び目標値</b>		
		<b>当初現況値</b>	<b>中間目標値</b>	<b>最終目標値</b>
【広島県・島根県 共通目標】観光客数【尾道松江線沿線地域】 (観光客の増加割合) = (評価時点の観光客数 - H22の年間観光客数) / (H22年間観光客数)		(H22) 47,949千人	(H27末) 50,047千人 (4.4%増)	(H29末) 50,875千人 (6.1%増)
【広島県 目標】広島県内における外国人延べ宿泊者数 (外国人延べ観光客数の増加割合) = (評価時点の外国人延べ観光客数 - H23の年間外国人延べ観光客数) / (H23年間外国人延べ観光客数)		(H23) 487千人	(H27末) 556千人 (14.2%増)	(H29末) 625千人 (28.3%増)
【広島県 目標】備後圏域連携中枢都市圏（広島県内）における観光客数 (観光客の増加割合) = (評価時点の備後圏域連携中枢都市圏（広島県内）観光客数 - H24の観光客数) / (H24の観光客数)		(H24) 18,865千人	(H27末) 19,683千人 (4.3%増)	(H29末) 20,101千人 (6.3%増)
<b>拠点施設・重点地区</b>				
【拠点施設】 <ul style="list-style-type: none"><li>○ 備後圏域連携中枢都市圏： 尾道市周辺の神社仏閣群（尾道市）、西御所地区観光施設群（重点地区）（尾道市）、鞆の浦周辺観光施設群（福山市）、せら夢公園及び観光農園群（世羅町）、比婆道後帝釈国定公園周辺観光施設群（帝釈地区）（庄原市・神石高原町）</li><li>○ その他： 三次市周辺の教養文化施設（三次市）、江の川カヌー公園さくぎ（三次市）、比婆道後帝釈国定公園周辺観光施設群（比婆道後地区）（庄原市）、神楽門前湯治村・神楽ドーム（安芸高田市）</li></ul>				
<b>関係県との連携の内容、進め方</b>				
(連携内容) <ul style="list-style-type: none"><li>○ 広島県、島根県と共同で尾道松江線の広域観光を連携して推進する。</li></ul>				
(進め方) <ul style="list-style-type: none"><li>○ 両県の観光、道路関連の機関による会議において各県の取組状況に関する情報交換や今後の方針等について検討を行う。</li><li>○ 広島県では関係部局・市町と連携して、観光ロード推進計画を定め、観光客へのおもてなしの充実を図る。</li></ul>				